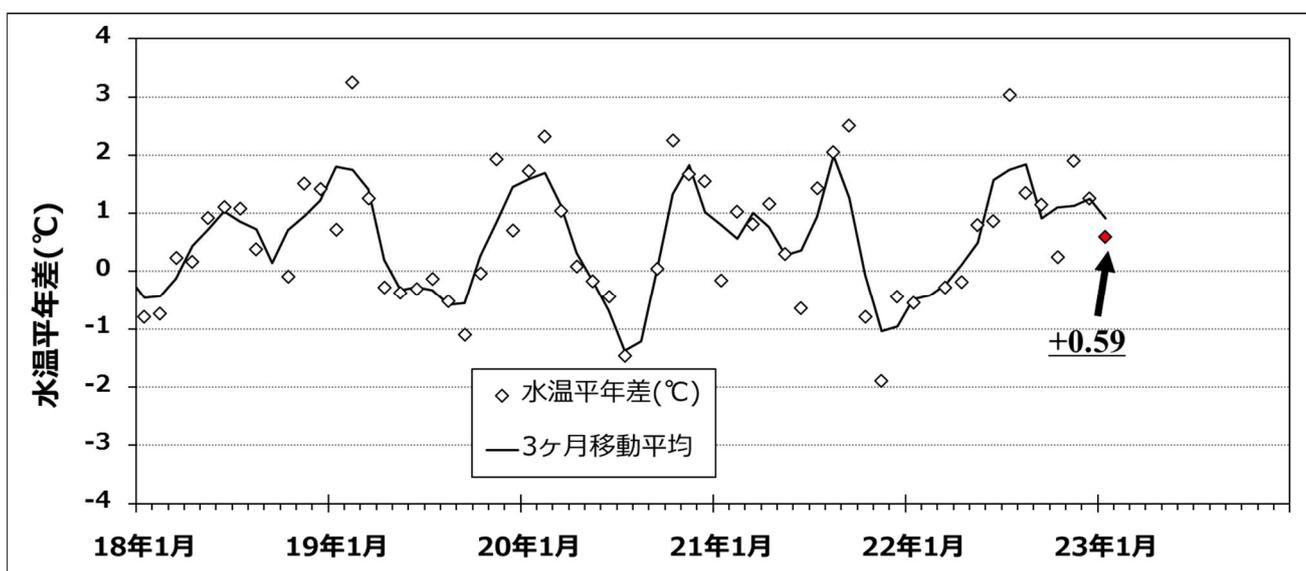


【水温の変動】

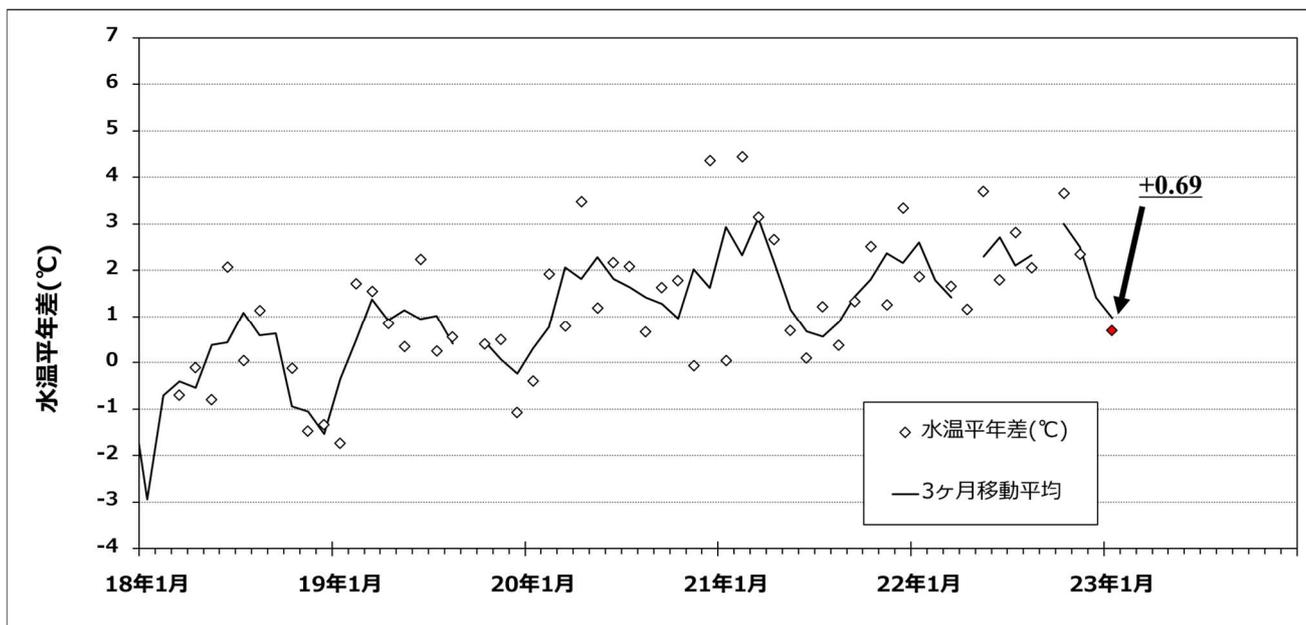
1月19、20日に、調査船海幸丸により渥美外海の観測を実施しました。

湾口部では平年差+0.59°Cでやや高めとなっています。1月19日の人工衛星画像によると、黒潮は室戸岬沖の北緯32度付近から大王崎沖北緯31度付近まで南下した後、S字を描きながら御前崎に接近し、三宅島付近へ流れています。現在の流路は、流軸が御前崎沖正南を北緯33度以北で通過するAs型流路となっています。渥美外海は、黒潮が渥美半島に接近しているため暖水波及が強まっています。

湾口部表層（A1）における水温平年差の変動



沖合域水深 200m（A4, A12, A19 の平均）における水温平年差の変動



※水温平年差は過去10年平均値との差

【渥美外海の海況】

湾口部から渥美外海にかけての水温は、表層で 12.1~19.9℃となっており、黒潮本流の接近の影響で、沖へ向かうほど高くなっていました。クロロフィル a 濃度は、湾口部 (P17~A1) の表層~10m 付近で最も高くなっていましたが、海域全体で低くなっていました。

水温の水平分布図と水温, 塩分, 密度, クロロフィル a 濃度の鉛直断面図

